

令和4年度学校関係者評価について

学校評議員の主な意見

(1) 創立40周年事業について

- ・創立40周年記念式典のVTRを視聴して感激した。一人一人の障害が異なるところを先生方が細かく指導し、事故等がないように対応している。指導の工夫や配慮を感じた。
- ・創立40周年記念式典は、新型コロナウイルス感染症対策として人数を限定して行われたが、多くの保護者等にも見てもらえれば更に良かったと思う。手作り感は参加してみないと分かりづらかった部分もあると思うので伝えていくとよい。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者等間のコミュニケーションが取りづらくなり、話す機会が少なくなっている。また、マスクを着けていることによって、顔の表情や雰囲気は伝わりにくいこともある。情報交換の場が少ない状況でもあるので、機会を捉えてPTA総会等において、情報等を伝えていきたい。

(3) 働き方改革（第2期）について

- ・先生の勤務時間は長いという印象がある。特に特別支援学校の先生は、ずっと子どもたちと一緒にいて、子どもたちが帰ってから自分の仕事をしているので、とても大変であると感じている。
- ・私が勤める法人内でも、昨年度から人事評価制度が始まり、全職員と年3回の面談を行っている。効率的に実施するための方策を検討しているところである。このことに限らず、学校においても、担当職員の負担を減らせるようにしていくように工夫することが大切であると思う。

(4) ICTの推進について

- ・ICT推進によりデジタル化が進むと、人間らしさが失われるのではと危惧している。コミュニケーション不足になりやすいが、コミュニケーションから学ぶことも多いので大切にしてほしい。

(5) 進路状況について

- ・卒業した我が子が進路先で他害を受けたことがあった。相手本人と保護者等が家まで来て謝罪されたが、安全な場所を侵害されたと感じたのか、子どもの様子が変わり暴れてしまうようになった。このようなことがあり、学校は安全であり社会は厳しいと感じた。

(6) 学校評価について

- ・人権意識について、親しみを込めて関わることは良いことであるが、他の人が見たときにどう感じるかのバランスを取りながら対応することが必要であると思う。
- ・保護者等アンケートのいじめ対応の項目で、「どちらともいえない」の回答が多いのは、安心・安全の対応をしているというアピールが足りないのではないと思う。
- ・保護者等懇談では、先生が言葉を選んでいるので分かりづらく伝わらないことが多い。はっきりと言ってほしいと思うことがあるが、関係性によって難しいのかもしれない。自分自身も職場での人間関係に苦労することもあるので、PTA総会等でよい関係を築いていけるとよい。